

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

平成 30 年 7 月 20 日

計画の名称	まちの玄関口としての駅周辺の利便性向上と安全に安心して暮らせるまちづくり																																	
計画の期間	成25年度 ～ 平成29年度（5年間）				交付対象	武豊町																												
計画の目標	駅を中心とした都市基盤整備および宅地の利用増進により、安心・安全で快適な駅の利用環境を確保するとともに、駅周辺としてふさわしい土地利用への転換を目指す。																																	
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知多武豊駅東土地地区画整理事業による駅アクセス道路・交通広場の整備や、駐輪場の整備により、安全で快適な駅へのアクセスを確保し、知多武豊駅東口の乗降者数を429人から687人（H29）に増加させる。</li> <li>・ 知多武豊駅東土地地区画整理事業による道路整備や宅地の利用増進により、知多武豊駅東口を中心とした商業環境を整え、区画整理地区内店舗数の減少傾向を解消する。</li> <li>・ 知多武豊駅東土地地区画整理事業により、災害等に対して備えのできていない災害危険エリア率を減少させる。</li> </ul>																																	
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24末)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 名鉄知多武豊駅東口乗降者数 交通量調査による名鉄知多武豊駅東口を利用する乗降者数</td> <td>429人</td> <td>—</td> <td>687人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 区画整理地区内店舗変動数 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行区域内に立地する店舗の変動数（5年ごと）</td> <td>▲1.5店舗</td> <td>—</td> <td>±0店舗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③ 区画整理地区内災害危険エリア率 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行地区内の災害に対して備えのできていない災害危険エリア（幅員6m以上の道路に接していない宅地又は袋地状の宅地/施工区域面積）</td> <td>70%</td> <td>—</td> <td>35%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H24末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	① 名鉄知多武豊駅東口乗降者数 交通量調査による名鉄知多武豊駅東口を利用する乗降者数	429人	—	687人		② 区画整理地区内店舗変動数 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行区域内に立地する店舗の変動数（5年ごと）	▲1.5店舗	—	±0店舗		③ 区画整理地区内災害危険エリア率 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行地区内の災害に対して備えのできていない災害危険エリア（幅員6m以上の道路に接していない宅地又は袋地状の宅地/施工区域面積）	70%	—	35%	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																														
	当初現況値 (H24末)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																															
① 名鉄知多武豊駅東口乗降者数 交通量調査による名鉄知多武豊駅東口を利用する乗降者数	429人	—	687人																															
② 区画整理地区内店舗変動数 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行区域内に立地する店舗の変動数（5年ごと）	▲1.5店舗	—	±0店舗																															
③ 区画整理地区内災害危険エリア率 知多武豊駅東土地地区画整理事業施行地区内の災害に対して備えのできていない災害危険エリア（幅員6m以上の道路に接していない宅地又は袋地状の宅地/施工区域面積）	70%	—	35%																															
全体事業費	合計 (A+B+C)	863百万円	A	852百万円	B	0百万円	C	11百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.3%																						

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	事後評価の実施時期	平成30年6月
事後評価の実施体制	公表の方法	武豊町ホームページにて公表
都市計画課		

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																
A1 基幹事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
1-A-1	都再区画	一般	武豊町	直接	—	知多武豊駅東土地地区画整理事業	緊急防災空地整備事業 A=1,800㎡	武豊町						100		
1-A-2	都再区画	一般	武豊町	直接	—	知多武豊駅東土地地区画整理事業	都市再生区画整理事業 A=1.5ha	武豊町						752		
小計												852				
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
1-C-1	施設整備	一般	武豊町	直接	—	知多武豊駅東自転車駐車場整備	自転車駐車場 500㎡	武豊町						10		
1-C-2	防犯	一般	武豊町	直接	—	防犯カメラ整備	防犯カメラ設置 2箇所	武豊町						1		
合計												11				
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			
1-C-1	知多武豊駅東側に自転車駐車場を整備することにより、駅利用者の利便性や快適性が向上し、より便利で使いやすい空間形成が期待できる。															
1-C-2	地域内にある知多武豊駅東側の自転車駐車場及び公園に防犯カメラを設置し、24時間監視をすることで犯罪の抑止力につながり、安全・安心なまちづくりに向けて、より一層の効果が期待できる。															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H25	H26	H27	H28	H29			
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅東口乗降者数は駅へのアクセス道路が未整備のため目標値を下回ったものの、事業実施による駅前の土地利用の変化により駅利用者の安全性が向上したことにより、利用者数が増加した。</li> <li>・ 既存店舗の地区外への移転等により店舗数が減少した一方、地区内で移転・開業した店舗もあり地区内の商業振興の足掛かりが見えた。</li> <li>・ 物件移転が進み地区内の狭あい道路に面した宅地や袋地状の宅地の割合が70%から22%へ減少し、災害危険エリアの縮小につながった。</li> </ul>			
II 定量的指標の達成状況	指標①（交通量調査による名鉄知多武豊駅東口を利用する乗降者数）	最終目標値	687人	目標値と実績値 に差が出た要因	道路を整備する上で支障となる物件のうち一部が移転できず、駅東口へのアクセス道路の整備が進まなかったため、駅東口の利用者数は増加したものの目標値には届かなかった。 利用者数が増加した要因として、駅東口への道路沿線の老朽化した空き家・空き店舗が除却されたことにより、通行上の安全性が向上したことが考えられる。
		最終実績値	506人 (H30.6.21)		
	指標②（知多武豊駅東地区土地区画整理事業施行区域内に立地する店舗の変動数（5年ごと））	最終目標値	±0店舗	目標値と実績値 に差が出た要因	道路や供給処理施設などの整備が進まず、仮換地先の使用収益が開始できないことから土地利用を図ることができず、地区外への移転を選択した店舗もあり、店舗数が減少となった。 店舗数を増加させるためには、仮換地の使用収益が開始できるよう速やかにインフラの整備を進めるとともに、従前の空き家・空き店舗といった土地利用からの転換を図り、地区外から新たな店舗の誘致を図る必要がある。
		最終実績値	▲2店舗 (H30.3月末)		
	指標③（幅員6m以上の道路に接していない宅地又は袋地状の宅地/施工区域面積×100(%)）	最終目標値	35%	目標値と実績値 に差が出た要因	災害危険エリアの減価買取や災害危険エリア内の物件移転が当初予定よりも順調に進められたことにより、地区内の災害危険エリアの縮小につながり、目標値を上回った。
		最終実績値	22% (H30.3月末)		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					
3. 特記事項（今後の方針等）					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き土地区画整理事業を実施することにより、土地の再編と駅アクセス道路等の整備を進め、駅周辺の利便性の向上と地区の安全で安心な生活環境の創出を図る。</li> <li>・ 土地区画整理事業による道路・公園等の供用開始に合わせ、自転車駐車場の整備や自転車駐車場及び公園への防犯カメラの設置を進め、駅周辺の安全対策の強化を図る。</li> <li>・ 地区内店舗のスムーズな再建に向け物件補償と宅地造成工事、道路工事及び建築工事の工程を調整するとともに、地区外からの新たな店舗誘致に向けた地区のイメージアップを図る。</li> </ul>					



(参考様式3)

(参考図面) 市街地整備

